



2018 年 6 月 22 日

天童中部小学校

校長 大谷敦司

充実の陸上運動記録会

7 日に、「第 35 回 天童市陸上運動記録会」が行われました。当日は気温が高く、なかなか厳しいコンディションだったのですが、参加した 6 年生は自己新記録を目指して、各競技に精一杯臨んでいました。その中で 2 つの大会新記録が本校から生まれました。一つは、男子 400m リレー。53 秒 97 の好記録で、18 年ぶりに大会記録を塗り替えました。もう一つは、男子走り幅跳び。4m 33cm で従来の記録を 23 年ぶりに塗り替えました。各々の競技を終えた子に、「どうだった」と聞くと、「緊張したけど全力でやれました。気持ちよかった」という内容が異口同音に返ってきました。何とも頼もしい子どもたちです。そして、その勇気を引き出したのは、5 年生を中心に壮行式を開くなどして応援した下学年の子どもたちの力だと思います。

学校全体にとって、大きな弾みになる充実した陸上運動記録会になりました。

連携を強化して子どもたちを育む

当たり前のことですが、学校教育は、その学校に勤務する私たち教職員だけが頑張れば何とかなる、というわけではありません。もともと学校教育は社会の負託を受けて行われているものなのですが、先行き不透明・価値観の多様化等々の現状においては、様々な機関や人々と「連携」する意識をこれまで以上に強める必要があると考えています。

6 月に入って、立て続けに、こうした「連携」に関わる会議等が行われました。

一つは、11 日に行われた幼保小連絡会です。先月の教育活動説明会でも申し上げましたが、新学習指導要領では、幼保の時期の教育が一層重要視されています。誤解がないよう申し上げますが、それは“早期教育”を指しているものではありません。一人ひとりの子どもの育ちに目を向けて、小学校教育との滑らかな接続に配慮するということです。これまで以上に幼保での育ちに小学校側が配慮し、小学校での学び・育ちと大きな段差がないように教育を行っていくということです。この点から、幼保の先生方のお話をじっくりお聞きできる本会議の意義は大きくなるばかりです。

一つは、14 日に行われた学校後援会に関わる会議です。当日は、理事会と評議員会（総会）が連続して行われました。詳細につきましては、後援会だより等をご覧ください。保護者の皆様にもご負担をおかけしていることと思いますが、地域という大きな枠組みで学校教育を物心両面からご支援いただいていることに心より感謝申し上げます。

一つは、18日に行われました学校評議員会です。授業をご覧いただいた後、学校経営について説明し、学力向上やいじめ問題対策等について、委員の方々よりご意見をいただきました。その一部をお知らせします。

- いじめ防止に向けて、全校児童を対象にアンケートを実施したり、丁寧に個人面談を行ったりしていることは評価できる。
- 授業中の雰囲気が良い。子どもたちがかわりあって学びを進めているところに好感が持てる。
- 掲示されている絵の色彩が、落ち着いた学校生活となっていることを示している。
- たくさん子どもたちが一緒に生活することは、トラブルが増える等というデメリットもあるが、将来は様々な人々が一緒に生活する社会に出ていくことを考えると、メリットの方がずっと大きいと思われる。

話し合いの中で、二つ考えてみたいものが出されました。

一つは、子どもたちの睡眠時間についてです。各種のアンケートで、子どもたちの睡眠不足が明らかになっています。学習に集中できないという面ばかりではなく、今後の心身の発達の面からも、適切な生活習慣の確立が大切だと話し合われました。

もう一つは、下校時の安全確認です。このところ、子どもたちが被害者となる大きな事件・事故が発生しています。登校時は、集団登校なのである程度は安心ですが、下校時、特に一人になってから心配な箇所がないのか、ということが出されました。この点については、早速、各学級ですべての子どもたちに聞き取りを行いました。大切なことですので、保護者の方でも情報や不安に思われていること等がありましたら、ご遠慮なく、まずは担任までお知らせください。

まだ、梅雨の時期にしては雨の日が多いというわけではありませんが、これからは雨の日が増えてくると思われます。雨の日は、傘や合羽等で、どうしても安全確保が疎かになりがちです。学校側でも声がけをしていきますが、ご家庭でも、是非安全確認についてお話をしていただきたいと思います。

来週27・28日は6年生の修学旅行が行われます。思い出深い行事になるよう願っています。それに伴って、両日、通学班等に影響が出る場合があります。ご協力をよろしくお願いいたします。

本校のホームページも随時更新していますので、ご覧ください。